

会 議 要 旨

( 1 / 4 )

会議の名称	令和4年度第2回川越市立美術館協議会
開催日時	令和5年2月24日(金) 午後3時開会・午後4時閉会
開催場所	川越市立美術館アートホール
会長氏名	(会 長) 宮澤光造
出席委員氏名 (人数)	(副会長) 山田誠次 (委 員) 青柳達雄、吉岡知子、山崎共子、田中 晃、 武 成志、西川雄一郎  (7人)
欠席委員氏名 (人数)	西野 博 (1人)
事務局職員 職・氏名	館 長 山田明子 副館長 折井貴恵 副主幹 相田祐次
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 令和5年度事業計画について (2) 美術館事務の課題について (3) 各委員から (4) その他 4 閉会
配付資料	・次第 ・川越市立美術館協議会委員名簿 ・資料1 令和5年度事業計画(展示) ・資料2 令和5年度事業計画(教育普及) ・資料3 美術館受付・看視業務のあり方について ・資料4 来館者用駐車場について ・資料5 令和5年度スケジュール  ・小茂田青樹展図録

議 事 の 経 過

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議題

(1) 令和5年度事業計画について

資料1・2について事務局から説明。

●委員意見

・展示について

意見：夏の企画が興味深い。美術館の使命として発掘、展示は重要である。資料が岩崎家に疎開されていたことは、どうやって分かったのか。

回答：近年、印刷物の評価が高まり展覧会も多く、当館が平成30年に行った「乙女デザイン」展をご覧になり、岩崎家から問い合わせがあった。これまでも岩崎勝平の関わりで岩崎家との交流はあったが非水資料のことは聞いていなかった。全国的に非水の評価は高く、妻翠子さんが岩崎家出身であることから当館では川越ゆかりの作家と考えていたところ今回の話があり、調査を続けてきた。

意見：内容、大きさはどのくらいか。

回答：ポスター10枚くらいのほか、A3大のもの、雑誌大の切り抜きがあり、展覧会の展示点数は約300点を予定している。見やすいように壁に飾るなど、できるだけ近くで見られるようにしたい。

意見：観覧者数増加のためのパブリシティーは考えているか。

回答：杉浦非水、中村一美は若い方に関心が高い傾向を考慮し、SNS系の広告を考えている。

・教育普及について

意見：3校美術部展について川越女子高が参加しない理由は何か。

回答：理由は不明である。

意見：令和4年度実技講座の油絵は1日では制作が難しいと思うがどのようなものだったのか。

回答：描きたい写真を持って来て8号作品を制作した。参加者は10人、初心者であったが作品は完成させたと聞いている。

(2) 美術館事務の課題について

資料3について事務局から説明。

意見：看視はサポートスタッフとは異なるのか。サポートスタッフにお願いすることは無いのか。

回答：看視は委託業務である。サポートスタッフは美術館の活動を支援するボランティアであり、賃金・交通費等は支払われない。

意見：看視業務は何か資格が必要か。

回答：資格は必要ないが研修を通して必要なことを身に付けてもらう。

## 議 事 の 経 過

意見：県、他の市町村がどのように委託しているか、そうした情報、資料を持ち、実態を強く主張すればいいのではないか。

回答：経費もさることながら看視の在り方の問題になっていると考えられる。

意見：看視の業務は、だれでもできるととらえられがちだが、お客様からの質問に直接対応する必要がある、専門的なことは学芸員が対応するが、基本的なこととして美術に対する好奇心がある方が望ましく、興味、知識が求められる。お客様に直接、接するということは叱られることに対しても誠実な対応が求められる。経験を積まれた方、あるいは信頼できる業者さんに対応していただくことが望ましい。

意見：海外で美術品を傷つけるような事故が起きている例もあり、きちんとした看視が必要であることを理解していただくべきである。

回答：専門業者に看視を委託することは、職員の負担軽減になるうえ本来の委託であり、座っているだけという認識で居眠りされても困るため、そのクオリティーにも注目してほしいと考えている。

意見：いちばんは、看視は誰でもできるというとらえ方が間違っている。看視の対応、注意の仕方などの態度により看視1人の印象で美術館が嫌われ、美術館の印象になる。看視は責任の重い業務である。

意見：来館者アンケートに看視について感想を求めるという手段もある。

意見：看視の従事者は、展示を理解しているのか。

回答：展示初日に学芸員から説明を受けている。慣れてしゃべり過ぎも避けなければいけない。好感度が求められる。

意見：盆栽美術館ではサポートスタッフの説明が詳しかった。看視業務が委託であることに驚いた。看視は特別な人がやっていると考えていた。委託ということを知らなかった。

回答：看視の従事者を学芸員と思っている人もいるようである。

回答：作品を説明するスキルと看視のスキルは別であり、学芸員と看視は異なる。一般の方にこのことを分かっていたいただく努力も必要である。

意見：美術館として委託するなら責任の所在という点を考えるうえでも看視は専門業者が望ましい。

資料4について事務局から説明。

意見：前回の協議会で駐車場の課題があった。

終日駐車されるケースは確かにある。県外ナンバーが目立つ場合もあり、対象となる3館だけなら駐車時間は限られる。

今回の整備工事で駐車場はきれいになり、思い切って有料化するには、いいタイミングだったと思う。

## 議 事 の 経 過

意見：長時間駐車抑制には心理的な有効手段力として、一定時間まで無料または無料時間を作らなくても有料化することが考えられる。南駐車場の有料化は市役所、観光用無料駐車場との兼ね合いで問題は無いのか。

回答：市役所駐車場は、平日は市役所に用のある方のみ使用でき、土日曜日・祝休日は有料である。観光用無料駐車場は離れた位置にある。

意見：3か所のバランスがとれれば有料化も考えられる。

回答：整備計画当初、経費などを積算したわけではないが、美術館では有料化を検討しており、バス見学における利用が課題となった。バスを駐車しないなら考え方は変わるかもしれない。

意見：全国の郵便局のようにタイムズなどの機関に丸投げする方法もある。

意見：初雁公園のビジョンでは駐車場の位置づけはどうなっているか。

回答：平成30年の構想では初期、中期、長期の計画があり、現在は初期が終わったところだ。南駐車場は計画当初38台の予定だった収容台数が結果として28台になった。長期計画では、初雁球場が大型駐車場になり現在の南駐車場は緑地になる。

意見：バス見学のバスは武道館東側の道路に駐停車できないのか。

回答：駐停車は可能である。歩く距離が短く歩道まで安全であるが駐車場所の確保が不確実であり、一般観光バスが駐車することにより停車できなくなる可能性がある。

意見：野球場の駐車場を活用して道路の付け替えなどにより、武道館側にバス駐車場を設けられないか。博物館、美術館、本丸御殿、武道館、初雁球場が縦割りになっている。

意見：駐車場問題は美術館だけではなく博物館、本丸御殿も連携する必要がある。今後も本丸御殿の観覧者は増加が見込まれる。

意見：美術館だけではなく市の共通認識として駐車場問題を考えて貰いたい。

**(3) 各委員から**

各委員から発言を頂きたい。

- ・小中学校児童生徒県特選受賞作品展は次回から入間地区が最上位になる。発表の機会として美術館における展示は継続していただきたい。
- ・3校の美術部展も現場の先生がどれだけモチベーションを継続できるかが重要である。できれば、市内の高校全体が参加できる展覧会があるといい。
- ・4月に開催予定の美術協会展の告知。

**(4) その他**

特に無し。

## 4 閉会

